

になっていますので、できるだけ早い時期に市の管理とすることとしています。

他の集会所につきましては、修繕等には市の補助金(補助率75%)を活用していただき地域での管理をお願いしています。

②現在、各地域にある集会所・公民館は建築に至った経緯から、運営・管理方法についても違いがあります。

昨年の6月議会でも「質問があり、市では生涯学習施設運営審議会において、それぞれが建築に至った経緯等を考慮しながら協議し、是正してまいります。」

佐古コミュニティセンター 参加者 12人

▼西佐古・上分・下分・つきみ野・宮の瀬
白岩・父養寺・仁尾島・母代寺(母代寺アゼリア、野市マザータウンも含む)・大谷

下水道整備について

つきみ野、宮の瀬団地は個々の合併浄化槽で生活排水等、汚水を処理している。いづれ下水道整備がされるのかと市役所に聞いたら書類上、つきみ野、宮の瀬団地は下水道整備完了地区になっているから下水道が通ることはないと言われた。

- ①将来的に下水道は整備されないのか
団地周辺の世帯には、下水道が整備されている。合併浄化槽が故障したときや維持管理を考えると、団地にも下水道を整備してほしい。
- ②合併浄化槽の修理費用について
下水道加入世帯に比べて、個々に

いうよりは、来たら聞くというような中途半端さだ。
来庁した人に満足してもらうだけでなく、来ない住民に必要なサービスを届ける工夫と努力をしてほしい。

A ①窓口対応についてのお褒めをいただきましたが、実際まだ十分とは言えません。管理職を筆頭に市職員は、市民の皆さんと同じ目線で課題や問題を共有できる人間としての誠実さと、それを解決に導く専門職としての知識や技術の向上が必要です。

現在、試行期間ではありますが前年度から導入している人事評価制度では、管理職をはじめ職員が客観的に自分自身を評価すること、あるいは上司や部下との面談により個々の課題を自覚し、解決に取り組むことをねらいに実施しています。

また、各職員の現状課題に合った研修への参加を必須とし、全庁的な研修も実施しています。お気づきの点は総務課までご連絡ください。

②市の事業を実施する際、市民の皆さんにどれだけ周知できるかで結果は大きく変わってきます。それが、各担当課の大きな課題でもあります。
求められているサービスや周知への工夫は、市民の皆さんからのさまざまな「意見やご指摘から生まれることが多くあります。日々の職務の中でも多くの声を聞かせていただけるよう全職員に意識の共有を図っていきます。」

合併浄化槽を設置している場合、故障などにかかる経費が高額と聞く。全て個人負担となるか。大規模災害などで軒並み潰れた場合等の対応は？
③香南市の下水道完備率は？
合併浄化槽も含め生活排水処理率、下水道管の整備状況はどうなっているか。広報に載せることはできないか。

A ①香南市の下水道事業には、公共下水道事業、特定環境保全公共下水道事業、そして農業・漁業集落排水事業があります。また、諸々の事情から下水道を整備できない地域については、合併浄化槽で対応していただいております。家庭からの生活雑排水等の汚水を浄化処理し、生活環境の向上と海や川の水質保全を推進しています。

つきみ野、宮の瀬団地については、個々に合併浄化槽の設置という形で開発が認可された地域となっています。
新たに下水道を整備する場合、終末処理施設やそれにつながる下水道管の許容量があり、現在の下水道区域を拡大することはできません。ご理解をお願いします。

②合併浄化槽の設置には国・県市の補助金が交付されています。下水道加入世帯は毎月の使用料を負担しており、浄化槽については設置後の維持管理を個人でしていたものが基本です。修理についてもご自分をお願いします。

市内で合併浄化槽を設置されている世帯は2千戸以上あります。南海大地震など大規模災害となれば、全体的な考え方で対応してまいります。

東部老人憩いの家 参加者 15人

▼中ノ村・土居・野地の一部(野地東、野地東の東、野地東の北)

香宗川の治水対策

第50連隊高知駐屯地の建設時には敷地内に調整池を作った直接雨水が香宗川に流れ込まないようにしたというのが、その後へ宿舎ができ、また、上分には工業団地ができるという。上流地域をほとんど開発し、香宗川への手当てができていないのではないかと心配だ。川には中州ができ木も生えている。

A 駐屯地には十分な調整池を造っていません。訓練地についても測量に入り4カ所の調整池を造る予定です。工業団地には3カ所に造る計画で、各地域を開発するときには、十分に調査して対策をとっています。香宗川は改修も完了していますのでご安心ください。

浚渫については、県中央東土木が危険箇所に優先順位をつけて実施していますので木の撤去の件も併せて要望します。

市役所新庁舎の建設計画について

※のいちふれあいセンター会場でも質問あり

現在の分庁方式は、各支所があり地域との関わりの中で良い形で機能しています。総合庁舎になると、地域との関わりがますます薄れていくのではないかと。いろいろな面から十分に時間をかけて検証、協議し、後世への不満材料や財政負担とならないようお願いしたい。

③香南市の下水道・合併浄化槽での生活排水処理率は、昨年度末で73.8%です。下水道管の普及状況については、なかなか複雑で広報には掲載しにくいものですので、上下水道課で各地区がどうなっているのかご確認ください。

住民サービスについて

住民サービスの基本は市職員の資質の向上にある。

合併して、広域になればなるほど住民サービスが低下し、旧町村にこだわる格差感が生まれるのではと心配していた。

5年たつて各窓口の対応は見違えるほど良くなり感心しているが、分庁方式になった物理的な不便も含め市民感情の中にはいまだに旧町村を引きずった行政不満もある。

市職員が積極的に地域に入って住民とコミュニケーションをとり、生きた行政ニーズに応えることができる市役所であってほしい。

①市職員の資質向上を

会議の運営や市民・関係機関との折衝能力不足など、課長級でさえ基本的な資質が身につけていない市職員がいる。今後、どのような研修をしていくのか。

②住民の声を聞く努力を

この市政懇談会の案内も宣伝カーで回っていたが、家は暖房をかけて締め切っているのを放送しているのから分からない。住民の声を聞きたいと

A 現在、建設時期や基本設計などについては未定で、庁内協議の中で建設予定地等を検討しています。今後、住民の方にも参加していただき財政面、防災面、利便性などから総合的に進めていきます。

富家防災コミュニティ センター 参加者 8人

▼新宮・中山田・兎田・本村

市政懇談会の在り方

広報を見ると、すでに市政懇談会を実施した香我美町は野市町に比べて参加者が多い。今回、参加者が少ないことについてどう思うか。

A 今回の懇談会の開催日程の告知は、基本的には広報への掲載とケーブルテレビです。香我美町には、6つの「まちづくり協議会」という組織があり、懇談会の開催についても各協議会から世帯にお知らせしていただきました。

また、それぞれの地域の協議会で1〜2カ月に1回は役員会を行っていることもあり、日ごろから市政や地域の課題について話し合うことができている。

野市町の場合、一斉に放送する設備もなく、季節柄、窓を閉めているので聞こえないとお叱りもありましたが、広報車で地域を回りました。香我美町で早すぎるとご指摘をいただいた開催時間についても、遅らせてご案内しましたがなかなか参加につながっておりません。

